

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31209	日本語表現法 Study of Japanese Linguistic Expressions	千賀敬之		基礎	1	選択	1・2後期
科目の概要							
同音異義語・同訓異字語・ことわざ・慣用句・敬語などの日本語の基本的な知識を修得するとともに、原稿用紙の使い方・手紙文の書き方・要約文・作文・小論文・自己アピール文などの作成方法並びに発表の仕方を学ぶ。また、実践的課題とグループワークに取り組むことによって、正しい日本語表現力とコミュニケーション能力を身に付ける。これらの学修を通して、「建学の精神」「社会人基礎力」「pisa型学力」を育成し、柔軟な思考や独自の発想ができるようにする。							
学修内容				到達目標			
① 計画に沿って漢字・慣用句・敬語などを学ぶ。 ② 原稿用紙に自分の考えをまとめ、発表する。 ③ 文章を読解し、要約方法と課題解決策を考える。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 具体的な場面で敬語を使用する。				① 敬語・文法・漢字・語彙の小テストで8割正解できる。 ② 要求字数の9割以上で文章をまとめることができる。 ③ 課題を発見し、その解決法を示すことができる。 ④ 話を聞き、意見を言うことで意思の疎通ができる。 ⑤ 人間関係を理解して様々な敬語を使用できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む作文演習・グループワークなどに、自ら積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	小テストの予習・復習、授業での課題への取り組みを確実に進めていくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	文章や図表から、それぞれの課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。					
	計画力						
	創造力	作文・小論文について、一般的・常識的見解を超えて、独自の考えを提示できる。					
チームで働く力	発信力	要約・作文・小論文でまとめた内容、また、グループで話し合った内容を受講学生全体にポイントが伝わるように発表することができる。					
	傾聴力	教員の講義の重点、他の学生の発表の要点、グループ内の発言の要点を的確につかみ、箇条書きでポイントを記述することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：毎回、教員の作成したプリントで実施する。 参考文献：「大学生のための敬語速習ノート」「大学生のための文章表現入門」（速水博司著）、日本経済新聞、日本語検定公式問題集、新国語便覧など							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
毎回配布されるプリントを熟読し、授業内容を理解するよう、復習を心がける。 毎回「小テスト」（社会人として必要な日本語の知識）を実施するので予習すること。				よく聞き、考え、課題に積極的に取り組み、表現力の向上に努めること。 配布プリントは、将来に備え、各自保管しておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	50	①	✓	漢字・語彙・文章表現に誤りがない。 正しい手紙文を書くことができる。 課題となる長文を決められた字数で要約できる。 文章表現のポイントの読解ができ、課題点を見つけることができる。 敬語の種類・適切な使用ができる。 課題解決の問題により、pisa型学力を身に付けることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	毎回、家庭学習用の練習プリントを配付し、次の時間の最初に回収する。そのプリントが小テストの範囲になるので予習・復習を行う。 授業の最初に小テストを実施する。次の時間までに採点し、返却した時にフィードバックを行う。授業の初めに実施する文章表現・敬語・文法・漢字・語彙の小テストの得点を評価に加える。
				②	✓	
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	誤字・脱字がなく、用語の使用が適切である。 要求字数の9割以上でまとめられている。 一文が簡潔でわかりやすい。 自らの独自の観点が示され、内容が優れている。 内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、わかりやすい発表である。 他の学生の発表内容を簡条書きでまとめる。 グループワークにより、テーマについて話し合い、グループの意見をまとめることができる。また、その過程で、pisa型学力を身に付けることができる。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 小論文・作文演習などに、積極的に取り組むことができる。 (実行力) 目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 (課題発見力) 文章・図表から課題を発見し、解決策を考察する。 (創造力) 文章・図表を踏まえて、独自の解決策を提案できる。 (発信力) 聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 (傾聴力) 他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、作文・議論・知識などが高度な内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字がなく、要求字数の9割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容も的確である。演習・グループ学習とも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。聞きやすく、説得力のある発表ができる。敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を9割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が9割以上である。</p> <p>Aは、Sとほぼ同様であるが、敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を8割以上マスターできている。・試験・小テストの正解率が8割以上である。</p>	<p>Bは、作文・議論・知識などがまずまずの内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字が2か所以内にとどまり、要求字数の8割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、ほぼ内容の過ちはない。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。聞きやすく、ほぼ内容が分かる発表ができる。</p> <p>敬語の種類・語彙を7割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が7割以上である。</p> <p>Cは、Bとほぼ同様であるが、敬語の種類・語彙を6割以上マスターでき、試験・小テストの正解率が6割以上である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 文章表現の基礎として、原稿用紙の使い方を学ぶ。 小テストの計画・方法を確認する。	シラバスと社会人基礎力をはぐくむ学泉ノートを参照し、講義・演習などの授業の方法と小テスト、予習復習のための課題について説明する。	原稿用紙の使い方・文章を書く手順が理解できる。	(復習) 授業の進め方の説明・原稿用紙の使用法の確認を行う。	90	実行力 傾聴力 規律性
2	文章表現 1 400字作文「近頃変わったこと」を書くことで原稿用紙の使用を学び、更に発表と傾聴の方法を学ぶ。	授業開始時に課題「誤りやすい漢字」の回収と小テストを行う。 作文「私のたいせつなもの」の発表と作文発表・傾聴ルーブリックにより、自己評価・他者評価を行う。	小テスト「誤りやすい漢字」の正答率は、6割以上である。 誤字・脱字・原稿用紙の誤使用が5か所以内である。作文を作成し、隔まで届く声で発表できる。また、他者の発表を聴き、ポイントをメモできる。これらに基づき、ディスカッションできる。	(予習) 小テスト範囲「誤りやすい漢字」、作文「私のたいせつなもの」の題材探し、構想、作文を行う。 (復習) 原稿の校正、「誤りやすい漢字」を書き直す。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	文章表現 2 新聞記事を読み、200字要約で要約することで文章要約の基本を学ぶ。	授業開始時に課題「難読語1～4」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却による振り返りを行う。新聞記事を読み、要約の仕方を捉え、200字要約を実践する。キーワード・キーセンテンスを振り返り、フィードバックを行う。	小テスト「難読語1～4」の正答率は、6割以上である。 長い文章を読み、キーワード・センテンスを6割以上押さえ、200字で要約することができる。	(予習) 小テストの範囲である「難読語1～4」の提出用課題を学修する。 (復習) 新聞記事で要約のポイントを自分のものと模範例とを比較しながら復習する。	90	主体性 課題発見力
4	文章表現 3 新聞記事を読み、「私にとって、仕事とは。」の題で、600字の作文を書く方法を学ぶ。	授業開始時に課題「難読語5～7」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却による振り返りを行う。新聞記事を読み、仕事への不安・仕事への期待・将来の自分・私にとっての仕事から課題を見つけ、感想文を書く。	小テスト「難読語5～7」の正答率は、6割以上である。 新聞記事を読み、記事への感想と話すべき課題を要求字数の8割以上で書くことができるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「難読語5～7」の提出用課題を学修する。 (復習) グループ学習に向けて、感想と課題とすべきことを600字でまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
5	文章表現 4 各自の作文について、グループで感想・課題をまとめ、全体発表することを通して、グループワークの方法を学ぶ。	授業開始時に課題「同音異義語」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却による振り返りを行う。各自の作文に基づき、グループで感想・課題をまとめ、全体発表する。各グループ学修の参考になる点を振り返る。	小テスト「同音異義語」の正答率は、6割以上である。 グループでの話し合い、問題の整理に参加し、グループ内で自らの役割を果たすことができる。	(予習) 小テストの範囲である「同音異義語」の提出用課題を学修する。 (復習) 自分の文章とグループでの話し合いを比較し、捉え直す。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
6	尊敬語概論と演習 1 尊敬語の定義(相手側・第三者の行為・ものごと・状態について、その人を立てて述べることば)を確認し、練習問題を解く。	授業開始時に課題「慣用句・ことわざ1」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却による振り返りを行う。 敬語演習プリントを使い、通常語と尊敬語の区別を学修する。学習内容は、「敬語練習表1」で振り返りを行う。	小テスト「慣用句・ことわざ1」の正答率は、6割以上である。 尊敬語の定義が理解でき、通常語を、言い換えによる尊敬語、添加による尊敬語を使って、演習問題が解けるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「慣用句・ことわざ1」の提出用課題を学修する。 (復習) 尊敬語の演習「敬語練習表1」で復習する。	90	実行力 傾聴力 規律性
7	謙譲語概論と演習 2 謙譲語I(自分側から相手側または第三者に向かう行為・ものごとなどについて、その向かう先の人物を立てて述べることば)、謙譲語II(自分側の行為・ものごとなどを、話や文章の相手に対して丁寧に述べることば)を確認し、練習問題を解く。	授業開始時に課題「敬語練習表2」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却による振り返りを行う。 敬語演習プリントを使い、通常語と丁寧語・美化語の区別を学修する。学習内容は、「敬語練習表1」で振り返りを行う。	小テスト「敬語練習表2」の正答率は、6割以上である。 丁寧語の定義が理解でき、通常語を言い換えによる丁寧語、美化語を使って演習問題が解けるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「敬語練習表2」の提出用課題を学修する。 (復習) 丁寧語、美化語を演習問題から復習する。	90	実行力 傾聴力 規律性
8	丁寧語概論と演習 3 丁寧語の定義(話や文章の相手に対して丁寧に述べることば)、美化語の定義(ものごとを美化して述べることば)を確認し、練習問題を解く。	授業開始時に課題「敬語練習表2」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却による振り返りを行う。 敬語演習プリントを使い、通常語と丁寧語・美化語の区別を学修する。学習内容は、「敬語練習表1」で振り返りを行う。	小テスト「敬語練習表2」の正答率は、6割以上である。 丁寧語の定義が理解でき、通常語を言い換えによる丁寧語、美化語を使って演習問題が解けるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「敬語練習表2」の提出用課題を学修する。 (復習) 丁寧語、美化語を演習問題から復習する。	90	実行力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文章表現 5 手紙文の構成(前文・主文・末文・後付・副文)・作法(頭語と結語の対応、時候の挨拶とその用語、相手の健康への配慮など)を学ぶ。	授業開始時に課題「敬語練習表3」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却によるフィードバックを行う。 手紙文の書き方プリントを使い、手紙文の構成・作法・書き方を学修する。	小テスト「敬語練習表3」の正答率は、6割以上である。 与えられた題材により、手紙文の構成や作法にのっとり手紙文が書けるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「敬語練習表3」の提出用課題を学修する。 (復習) 手紙文の様式・用語を確認し、恩師への近況報告の手紙を作成する。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	文章表現 6 長文・図表から内容を読解し、序論・本論・結論の3段構成により自らの考えを展開する小論文の書き方を学ぶ。	授業開始時に課題「手紙文の書き方」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却によるフィードバックを行う。 自らの考えを展開する小論文の書き方を学修する。	小テスト「手紙文の書き方」の正答率は、6割以上である。 長文・図表の内容を要点を押さえながら課題を捉え、それについての意見をまとめることができるようにする。	(予習) 小テストの範囲である「手紙文の書き方」の提出用課題を学修する。 (復習) 次回発表できるように小論文を校正する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
11	文章表現 7 各自の小論文に基づき、グループワークで意見交換しながら課題を確認し、課題解決に踏み出す方法を学ぶ。	授業開始時に課題「同訓異字語1・2」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却によるフィードバックを行う。 各自の小論文により、グループワークで意見交換して課題を発見し、解決方法を話し合う。	小テスト「同訓異字語1・2」の正答率は、6割以上である。 グループワークでの話し合い、問題の整理に参加し、グループ内で自らの役割を果たすことができる。	(予習) 小テストの範囲である「同訓異字語1・2」の提出用課題を学修する。 (復習) グループワークでの学習を振り返り、簡潔にまとめる。	90	主体性 実行力 発信力 規律性
12	敬語表現の実践 I 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。	授業開始時に課題「同訓異字語3・4」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却によるフィードバックを行う。 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語を使用して、振り返りによるフィードバックを行う。	小テスト「同訓異字語3・4」の正答率は、6割以上である。 相手が訪問客であったり、上司であったりと、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「同訓異字語3・4」の提出用課題を学修する。 (復習) 場面ごとの敬語使用法を問題ごとに振り返る。	90	実行力 傾聴力
13	敬語表現の実践 II 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。	授業開始時に課題「敬語練習表4」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却によるフィードバックを行う。 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語を使用して、振り返りによるフィードバックを行う。	小テスト「敬語練習表4」の正答率は、6割以上である。 相手が訪問客であったり、上司であったりと、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができるようになる。	(予習) 小テストの範囲である「敬語練習表4」の提出用課題を学修する。 (復習) 場面ごとの敬語使用法を問題ごとに振り返る。	90	実行力 発信力 状況把握力
14	文章表現 8 自己の長所・短所を捉え、文章をまとめ、発表することで、自己PRの仕方を学ぶ。	授業開始時に課題「四字熟語」の回収と小テストを行う。前回小テストの返却によるフィードバックを行う。 自己PR文の発表を通して、発信力・傾聴力へのフィードバックを行う。	小テスト「四字熟語」の正答率は、6割以上である。 600字の8割以上・誤字5字以内・正しい段落分けで自己PR文を作成し、発表することができる。	(予習) 自己PR文の構想・下書き・清書を行う。小テストの範囲である「四字熟語」の提出用課題を学修する。 (復習) 自己PR文の校正を行う。	90	主体性 実行力 創造力 発信力
15	これまで学んできた敬語表現・文章表現を総復習し、確認する。	授業開始時に「四字熟語」の返却によるフィードバックを行う。 15週にわたって学修した内容を小テスト・配布プリントなどを使って、授業のフィードバックを行う。社会人基礎力チェックシート・授業評価を実施する。	これまで学んできた文章表現・敬語表現・小テストの課題をを6割以上理解できている。	(予習) これまで学んできた文章表現・敬語表現・小テストの課題の点検。 (復習) 期末試験に向けた文章表現・敬語表現・小テストの課題の総復習	90	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力